

ふるさと探訪

第77回 小松橋



小松高校の校舎を見上げる
市道中央線の小松川に架かる
小松橋は、クラシカルな雰囲気
の漂う味わい深い橋です。

橋長28・6㍎、幅員5㍎の
鉄筋コンクリート橋で、愛媛
の近代化遺産だけでなく、日
本の近代土木遺産としても選
ばれたその理由が分かるほど、
照明が設置された親柱や欄干
のデザインは意匠に富み、当
時の型枠技術の高さをうかが
い知ることができます。

小松橋が完成したのは大正
15年2月。この年は、暮れも
押し迫った12月25日に大正天
皇が崩御し、昭和に改元され
た年でもあります。その後、
自動車の通行量増加や経年劣
化などに伴う修復工事が施さ
れ、平成元年に往時の美しい
姿をよみがえらせています。



かつて金毘羅街
道として多くの参
詣客や旅人に利用
された道筋に、こ
のモダンな橋が架
かり親柱の照明に
明かりが灯された
時、人々は新たな
時代の到来を感じ
たのではないで
しょうか…



まさに小松橋は、大正・昭
和・平成と、我が国が近代国
家として発展を遂げた激動の
時代に地域の人々の足元を支
え続け、歴史の節目ごとにそ
の記憶の足跡を残しつつ、今
もなお現役で活躍しています。